



## Asia Watch

### 中国の環境意識の高まり

## 質の高い成長を目指し、水資源の効率的利用へ

※当資料は「アジアリサーチセンター」のレポートを基に作成しています。

#### 要約

#### ● 水資源の効率的利用

中国政府が水資源の効率的活用に向け課題解決へ本格的な取り組みを行っています。中国の一人当たり水資源量は主要国の中でも少なく、問題は切実です。中国は環境よりも経済成長を優先して推進した時期がありましたが、今では水の効率的利用等、環境対応が持続的成長のために不可欠であることが広く周知されてきています。

#### ● 環境重視の対応が本格化

2010年以降、水の使用制限や効率的使用を求める厳しい環境規制が設定されました。監督官庁を再編するなど、これらの規制を遵守するための政策が進められています。

#### ● 質の高い持続的成長を志向

GDP当たりの水使用量で算出される効率性は、改善傾向にあります。中国が各産業のバリューチェーンを通じて、水問題に取り組んできた成果です。環境規制の強化は短期的にビジネスに影響する可能性がありますが、持続的成長のためには不可欠と考えられ、中国が目指す質の高い成長と整合的と考えられます。環境重視の政策運営に基づいて、個別企業の取り組みが進むことで、ESGの中でも環境対応に関する評価が高まり、個別企業の資金調達コストの低下（グリーン・サステナブルボンドの発行、株式リスクプレミアムの低下等）につながるなど、金融市場への好影響が期待されます。

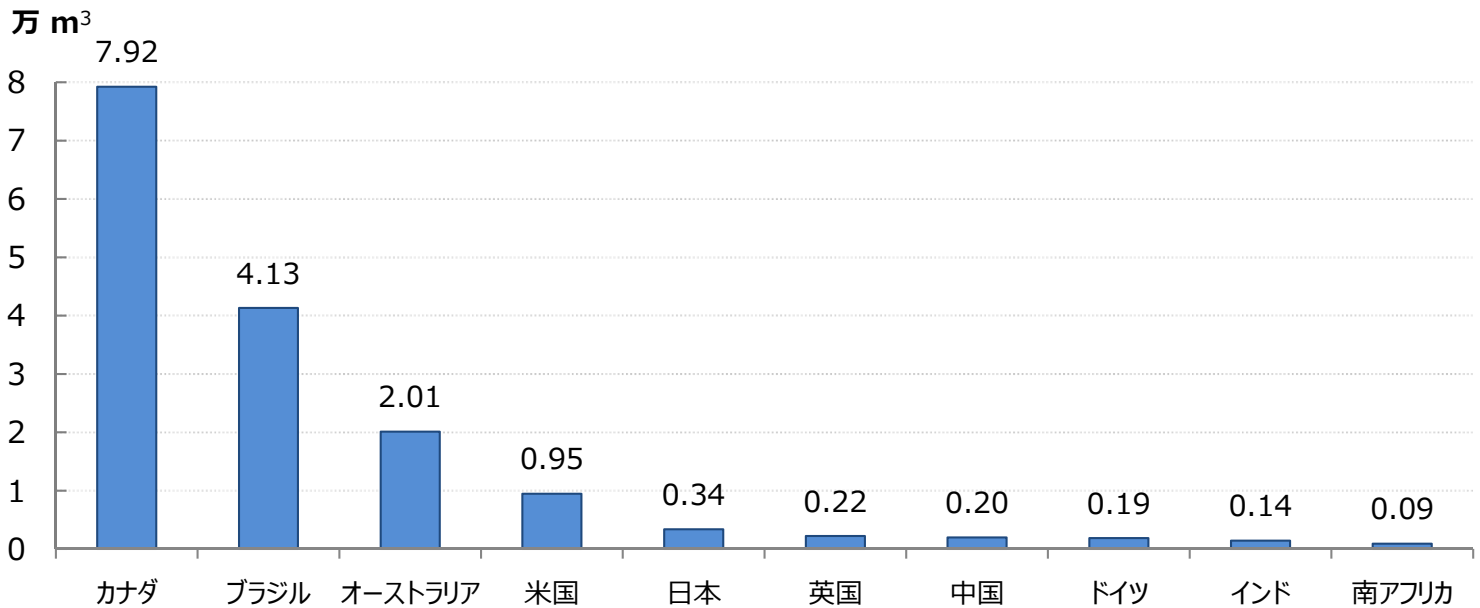
#### 水資源の希少性、地域的偏在

##### 乏しい中国の水資源

水は、他のエネルギー資源同様、産業に不可欠です。日本、英国、ドイツなど、人口に比べて水資源の乏しい先進国では、通常、水資源を効率的に使用しています。さらに大量の水を必要とする農産物などを他国から輸入することにより水資源の不足を補う効果をもたらしています（広義の水資源輸入）。

一方、新興国のGDP当たりの水使用の効率性は低い傾向にあります。大量の水を使用する農業が経済の大きな割合を占めているためです。持続可能な成長を実現するためには、水使用の効率性を高める必要があります。特に、近年深刻な水不足に悩むインドや南アフリカの一部の地方では実際に経済成長に悪影響が出ており、水資源の効率的管理が喫緊の課題となっています。

## 主要国の1人当たり年間有効水資源量（2017年）



(出所) 国連・食糧農業機関のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

### 水問題の取組みに本腰

#### 環境規制強化の動き

環境問題を認識した中国は、2010年以降、水資源の管理と持続可能な経済構造の構築を推進してきました。従前の経済成長優先に比べ、大きな政策転換といえます。環境対策に注力する習近平総書記の下、中国政府は「スリー・レッド・ライン」と呼ばれる水資源の管理政策を策定したり、地方政府に環境目標を定め、監視を強化するなど中央・地方政府一体となって水資源の効率的利用に取り組んでいます。

時期	環境関連政策の内容	発行・発表機関
2010.12	水資源管理の基本方針、「スリー・レッド・ライン」が「中央文書・No1（2011年）」で示される	国務院
2012.11	「生態系重視の発展」が党規約に政策目標として書き込まれる	第18期共産党大会
2014.03	「環境汚染との戦い」が年次の全人代文書に掲げられる	全人代
2015.04	「10項目の水対策」が環境汚染克服のための総合政策として発表される	国務院
2017.10	生態系を巡る多くのテーマが習近平の思想として党規約に書き込まれる	第19期共産党大会
2018.04	環境管理を徹底合理化するための省庁再編が実施される	国務院

(出所) 政府発表に関わる各種メディアを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

この資料の巻末ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

上記は当資料作成基準日現在のものであり、将来の成果および市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。将来予告なく変更される場合があります。

水問題に関わる「スリー・レッド・ライン」

①水の使用管理、②水の使用効率改善、③水質汚染の防止

水資源管理の基本方針となる「スリー・レッド・ライン」は、「中央文書・No1（2011年）」（中央政府・国務院発表）で示されました。この方針は①水の使用総量、②GDP当たりの水の使用効率、③使用済み廃水および天然水域の水質、を対象にします。目標値は主に省レベルで設定され、例えば、経済水準の高い広東省には比較的厳しい目標値が与えられました。全国レベルでは、経済成長を反映し2030年の総使用水量は2015年よりも10%高く設定されているのに対して、広東省では使用量の削減が求められました。水使用量の進捗は目標を上回っています。

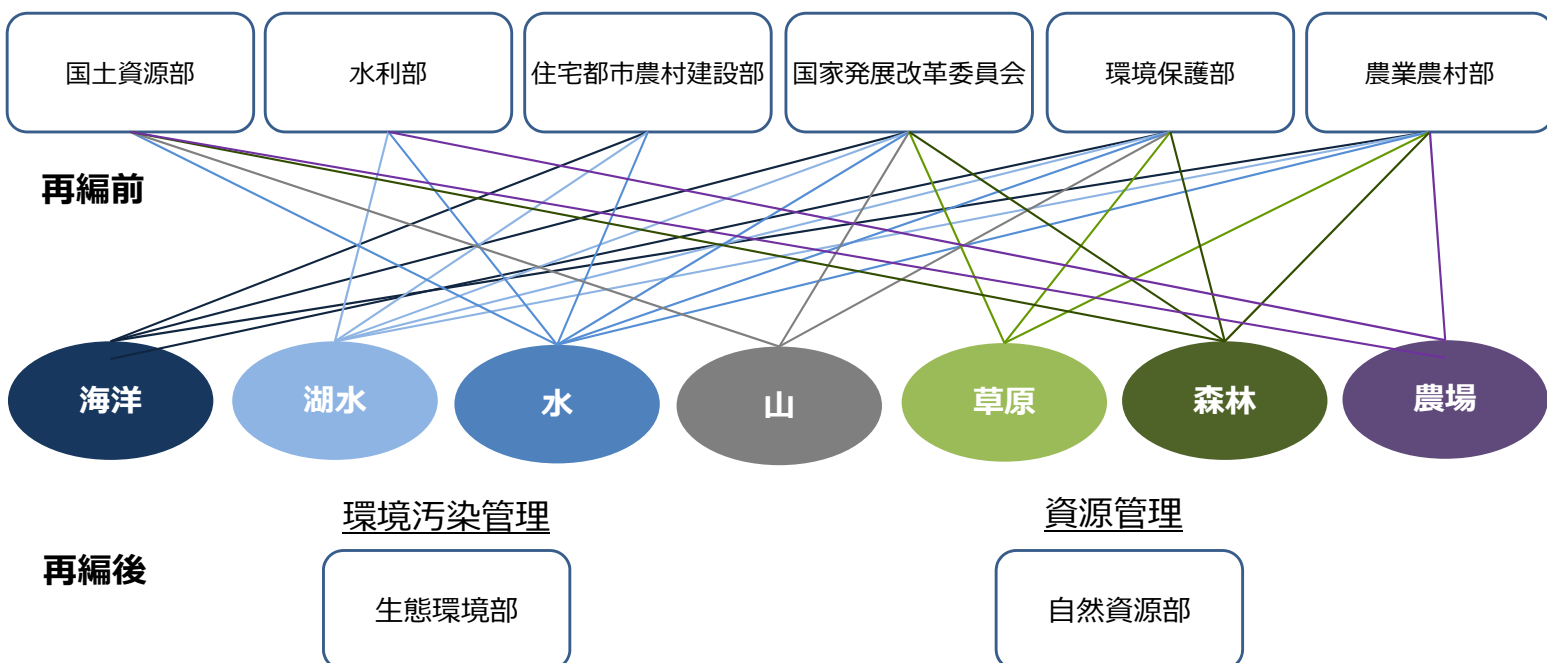
広東省の「スリー・レッド・ライン」

時期	水使用総量(十億 m <sup>3</sup> )	水の使用効率	水質 (政府制定の基準適合率)
2015	45.7 (2015年実績: 44.3)	1万元の付加価値生産に必要な水使用量を2010年比▲30%削減 (2015年実績は▲44%)	68% (2015年実績: 72%)
2020	45.6 (2018年実績: 42.1)	1万元の付加価値生産に必要な水使用量を2015年比▲25%削減 (2018年実績は▲22%)	83% (2018年実績: 79%)
2030	45.2	未公表	95%

(出所) 中央政府、広東省発表、および広東省水資源局のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

環境関連各部の再編に伴う合理化

2018年、国土資源部、住宅都市農村建設部、環境保護部、農業農村部を含む複数の部が解体され、「生態環境部」と「自然資源部」に再編集約されました。二つの大きな権限を有する部を新たに創設し、総合的な環境政策の推進を担っています。生態環境部は土壌、大気、水に関連する全ての汚染問題に対処し、自然資源部は全ての天然資源の所有者・管理者としての役割を果たします。これにより、水問題に関わる総合的な政策が遂行される体制が整いました。



(出所) チャイナ・ウォーター・リスクのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成



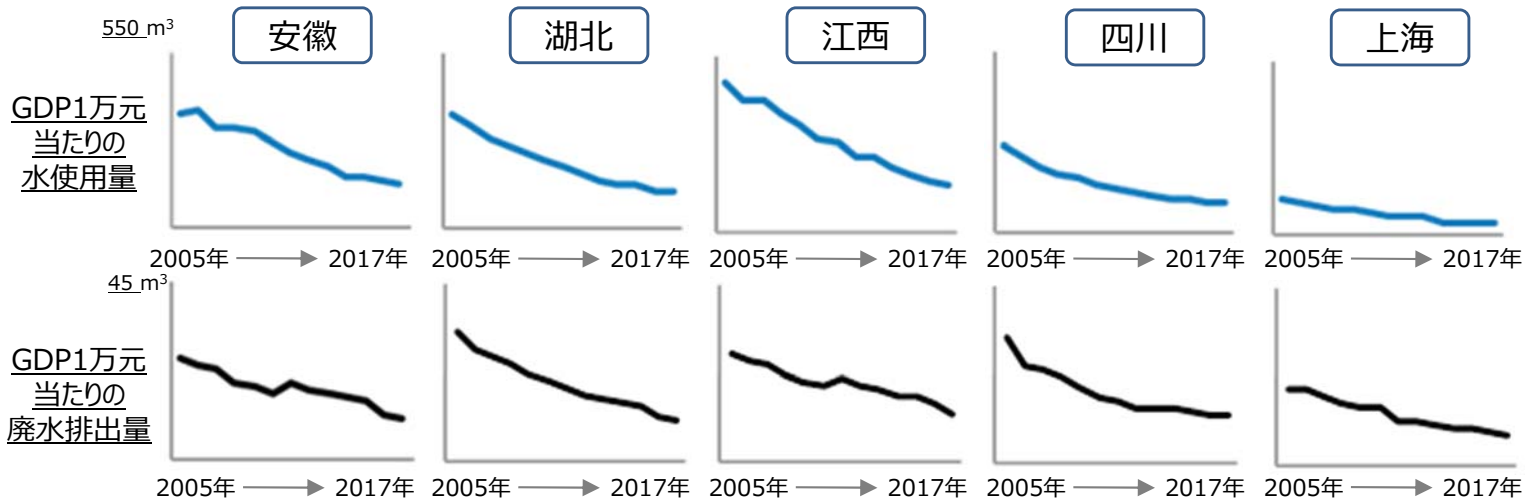
質の高い持続的成長を志向

環境重視の政策推進

GDP当たりの水使用量と同廃水排出量は、ともに過去10年間にわたり改善傾向にあります。中国が各産業のバリューチェーンを通じて、水問題に取り組み、水資源の管理を徹底した成果です。江西省の場合、GDP当たりの廃水排出量は2015年から2017年にかけて28%減少しました。

環境負荷の高い産業は、環境対策が必須です。江西省の場合、廃水排出量目標の達成は、鉄鋼業の製錬・プレス、非鉄金属の採掘・加工、製紙・紙加工等の生産停止・縮小、環境負荷改善によるものでした。非鉄金属の場合、破壊された環境修復費用は、同産業が生み出す付加価値の10倍以上になるとも言われています。環境重視の政策転換は短期的には企業のコストを引き上げ経済成長を抑制する可能性があります。中長期の持続的成長には不可欠で、中国が目指す質の高い成長と整合的と考えます。ESGの観点からは、個別企業の資金調達コストの低下など、金融市場への好影響が期待されます。

揚子江河岸に位置する主要省の水使用量、廃水排出量の推移



(出所) チャイナ・ウォーター・リスクの データを基に三井住友DSアセットマネジメント作成 (5つのグラフの縦軸は共通)

揚子江河岸に位置する主要省の地図



(出所) アジアリサーチセンター作成

**【重要な注意事項】**

- 当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。
- 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

作成基準日：2019年12月25日